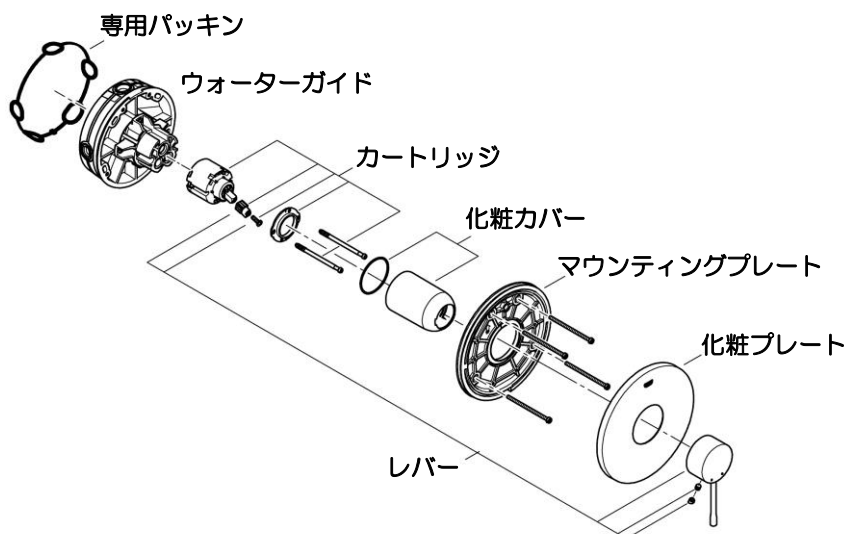


Essence シングルレバーシャワー混合栓化粧部 据付説明書 (お客様にお渡しください)

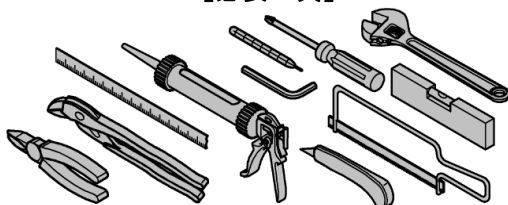
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。

※欠品、キズ等が無いかわり前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。

24057

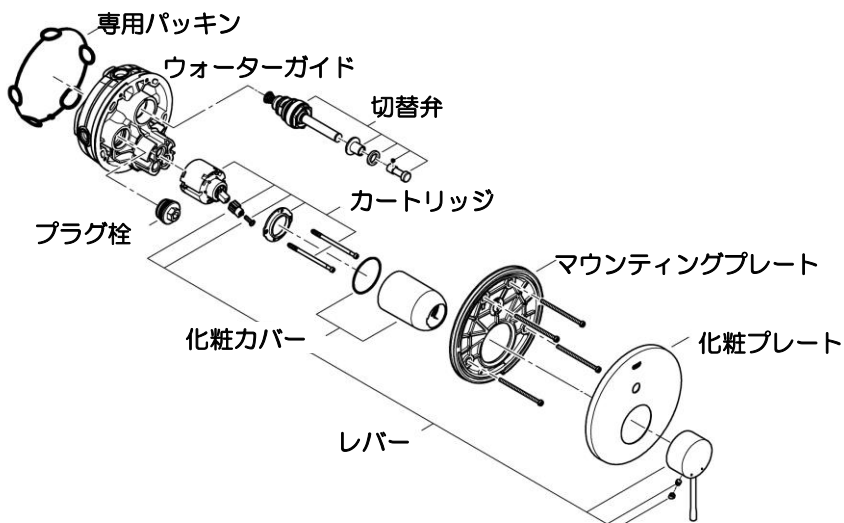


【必要工具】



※ その他、現地で必要とする工具をご用意ください。

24058



安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

(例:給水圧力0.2/給湯圧力0.2、給水圧力0.6/給湯圧力0.2などのように設定ください)

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●本体を確実に固定する為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●接続ネジは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2、R1/2)には使用しないでください。

●吐水口を取付ける場合は、接続ねじは平行ねじG3/4・G1/2となります。

●吐水口、シャワー等の取出しには、市販のプラグで仮の止水を行って下さい。

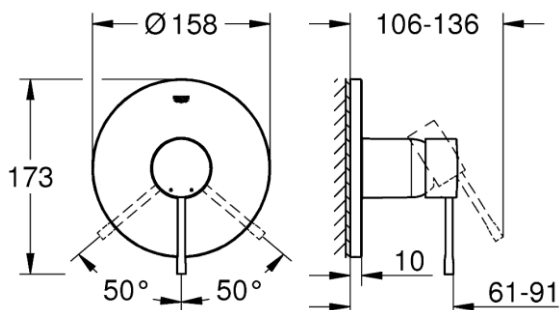
●浴室乾燥機、スチーム等で室内温度が高温になる場合は、破損する場合があります。

施工準備

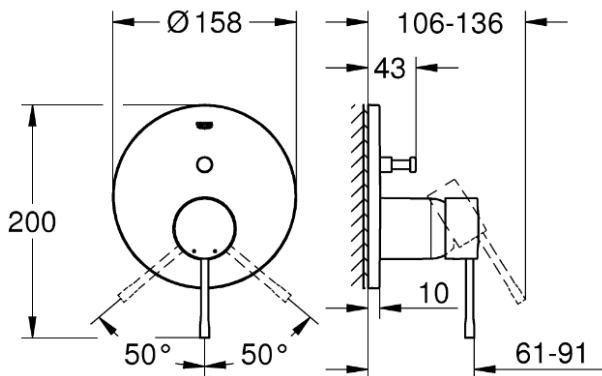
Essence シングルレバーシャワー混合栓化粧部 について

1. 本製品は356000「スマートコントロール埋込本体部」とセットでご使用いただく商品です。

24057

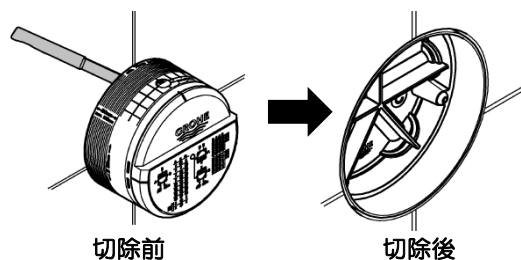


24058



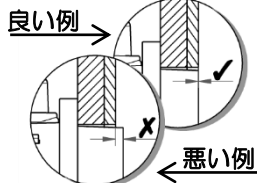
埋込本体部の固定

1. 埋込本体部の壁仕上り面より前にはみ出た部分をカッター等で切除します。

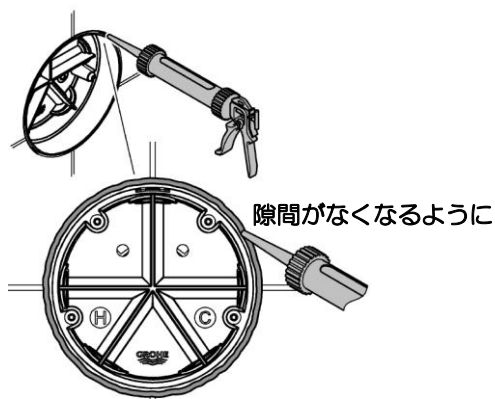


ポイント

埋め込み本体部の切除は、壁仕上面と揃えてください。
※化粧部が取付けが出来なくなる場合があります。



4. 埋込本体部と壁の隙間を、コーキング材で埋めます。



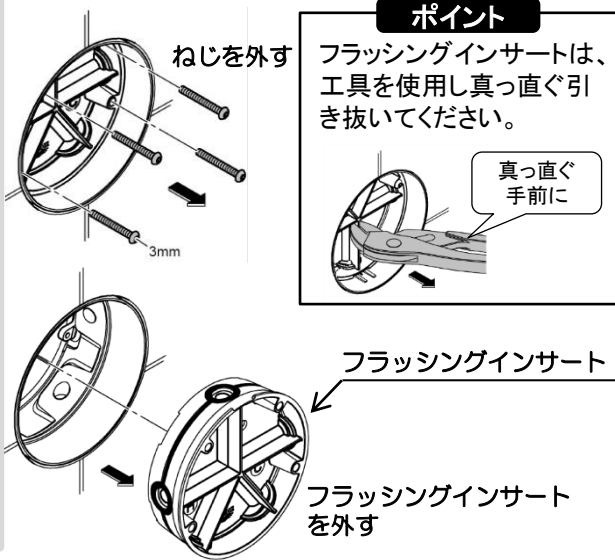
注意

ご使用のコーキング材のご使用方法に従い、完全に固定されたことを確認してから次の作業を行ってください。

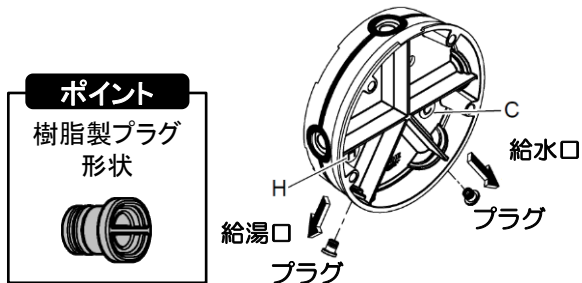
施工手順

通水確認とフラッシング(配管の洗浄)

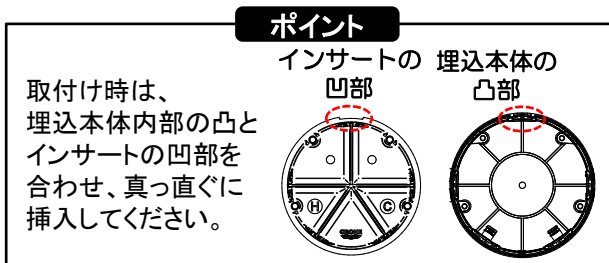
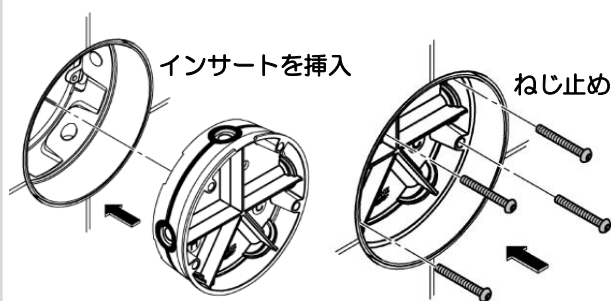
1. 埋込本体内部の固定ねじを取り外し、プライヤー等の工具でフラッシングインサートを引き抜きます。



2. フラッシングインサートの給湯・給水穴の樹脂製プラグを取外します。(ペンチやプライヤー等の工具を使用してください)

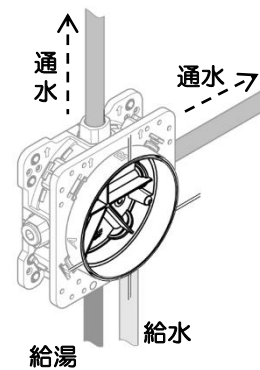


3. フラッシングインサートを取付け、固定ねじを締めつけます。



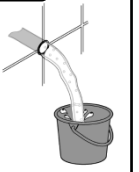
3. 止水栓を開き、通水します。配管の洗浄と通水確認を行い、止水栓を閉じます。

※通水経路は一例です。



注意

排水時はバケツ等をご用意ください。



ポイント

切替付は上と右の配管、切替なしは上か右にいずれかになります

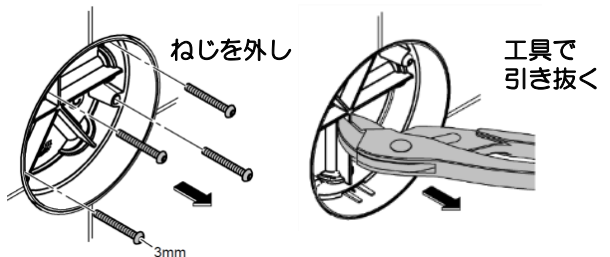
ポイント

湯・水どちらとも通水をご確認ください。

注意

・図中の通水経路は一例です。必ずご使用の通水経路の配管を洗浄してください。
・配管中の異物を完全に洗い流してください。
※ゴミ詰まり・動作不良を引き起こす恐れがあります

5. 埋込本体内部の固定ねじを取り外し、プライヤー等の工具でインサートを再度引き抜きます



ポイント

取り外したインサートは廃棄してください。



注意

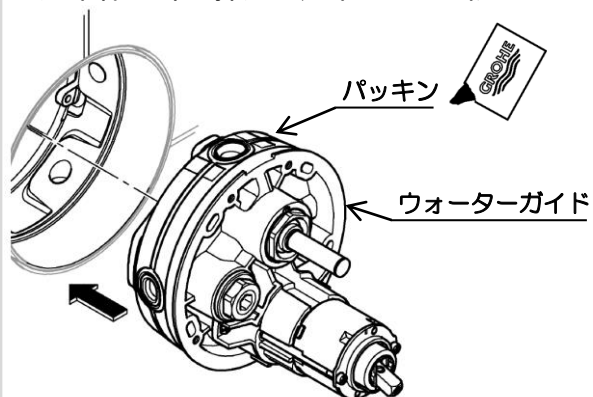
インサートを外した後、埋込本体内部に異形パッキンが残っていないか確認してください。
※水漏れ・製品不良を引き起こす恐れがあります

異形パッキン

施工手順

ウォーターガイドの取付け

1. ウォーターガイドのパッキン部分にグリスを塗布し、埋込本体内部に挿入し、2本のねじで仮止めします。
2. 水準器を使用し、角度の調整をします。



注意

パッキンには必ずグリスを塗布し、ねじれやゴミの付着が無いか確認してください。

ゴミ付着・ねじれが
無いか確認

グリス塗布

パッキン

注意

ウォーターガイドの仮止めは長穴2カ所を利用して
ください。

長穴

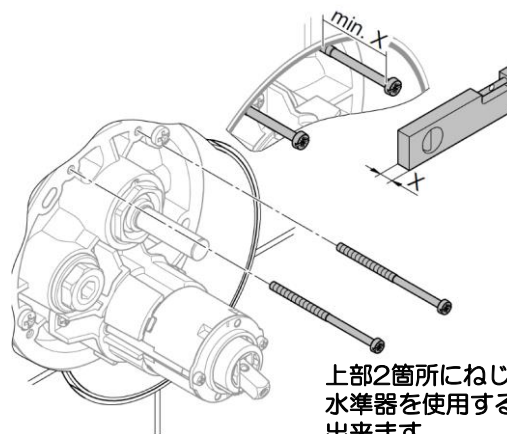
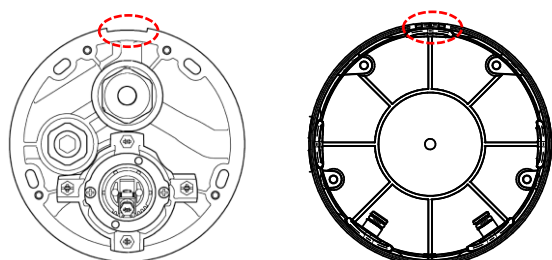
図の2箇所
にねじ止め

ポイント

取付け時は、埋込本体内部の凸とウォーターガイドの凹部を合わせ、真っ直ぐ挿入してください。

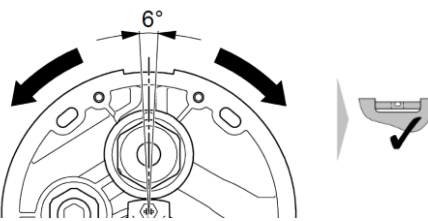
ウォーターガイドの
凹部

埋込本体の
凸部

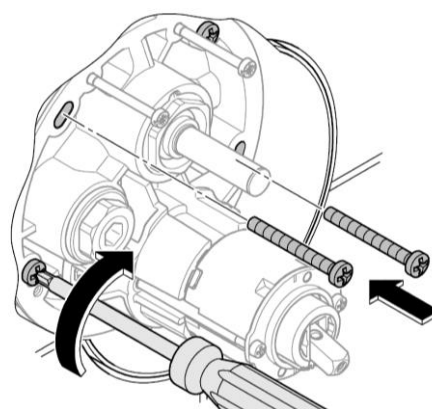


注意

仮止め時には6度まで角度調整が可能です。



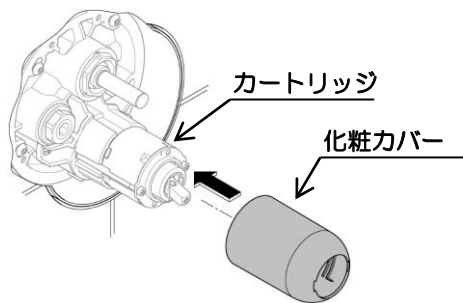
3. 残り2箇所の長穴にねじ止めし、ウォーターガイドを固定します。



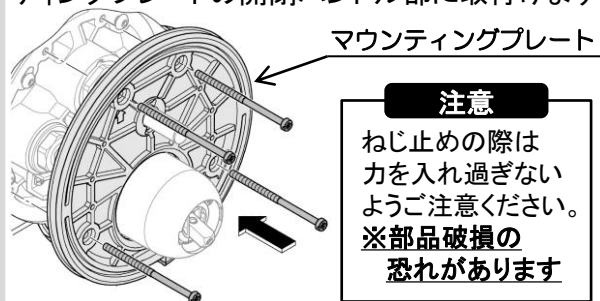
施工手順

化粧カバーとマウンティングプレートの取付け

1. カートリッジに化粧カバーを取付けます。



2. ストップリングと開閉調節リングをセットし、マウンティングプレートの開閉ハンドル部を取付けます。



注意

ねじ止めの際は
力を入れ過ぎない
ようご注意ください。
※部品破損の
恐れがあります

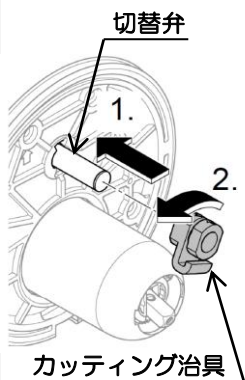
【切替えタイプ(24058)のみ】切替ノブの取付け

注意

切替ノブの無いタイプ(24057)を
設置の場合、この作業は
必要ありません。



1. 切替弁にカッティング治具を取り付けます。



ポイント

①穴形状に
合わせて
差込み
②左に回転
させます

2. カッティング治具に合わせて切替弁の
高さ調整部を切り取ります。

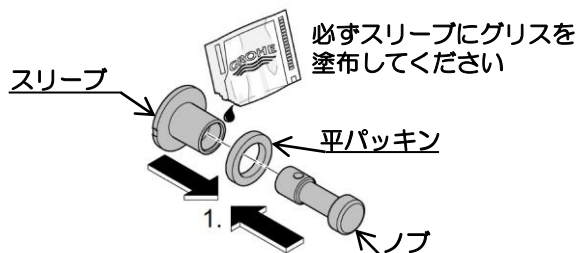


3. マウンティングプレートから残ったカッティング治具
を取り外します。

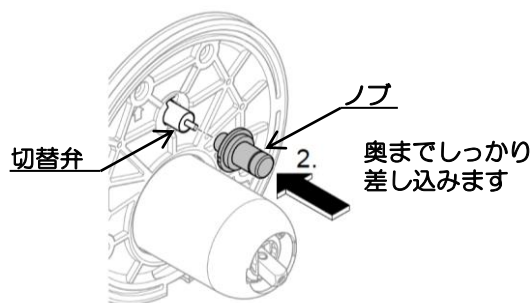


4. 切替ノブを取り付けます。

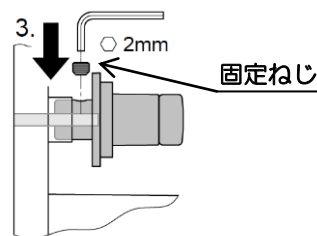
①スリーブ、平パッキン、ノブを組み立てます



②切替弁にノブを取り付けます。



③固定ねじを締めつけます。



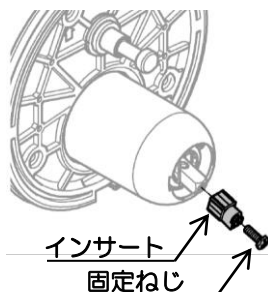
注意

・2mmの六角棒レンチを使用してしっかり
取り付けてください。
・確実に固定されていることを確認して
ください。

施工手順

化粧プレートとレバーの取付け

1. カートリッジにインサートを取り付け、ねじで固定します。

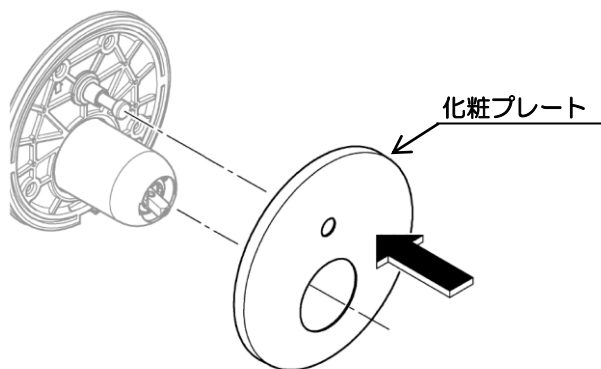


注意

インサートは丸みのある方を上に向けて取り付けます！ 取付け方向に注意！



2. 化粧プレートを取付けます。



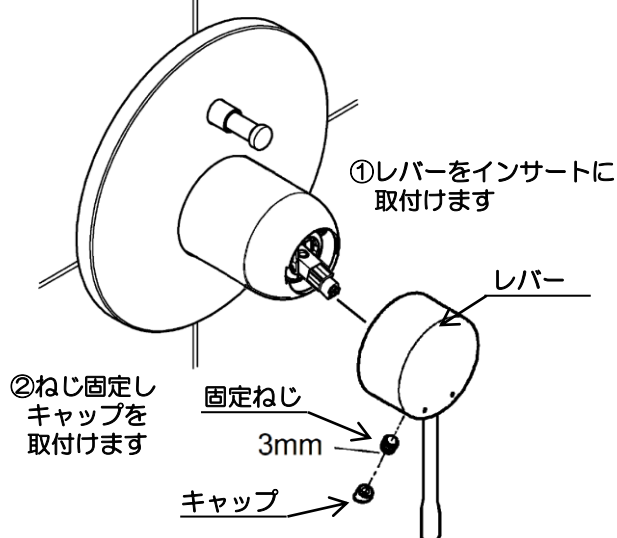
注意

化粧プレートはしっかりはめ込んでください。

ポイント

化粧プレートに傷が付かないよう、ご注意ください。

3. カートリッジのインサート部にレバーを取付けねじ固定します。

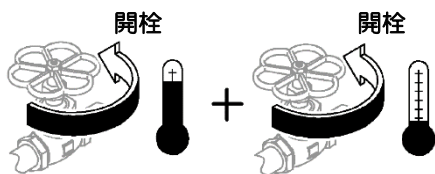


注意

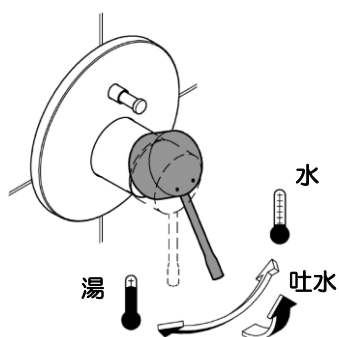
・3mmの六角棒レンチを使用してしっかり取り付けてください。
・確実に固定されていることを確認してください。

通水確認

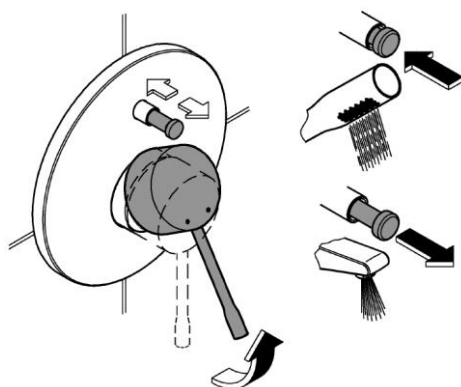
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水確認します。



3. 【切替タイプ(27058)のみ】切替ノブを動かし、吐水が切替わることを確認します。



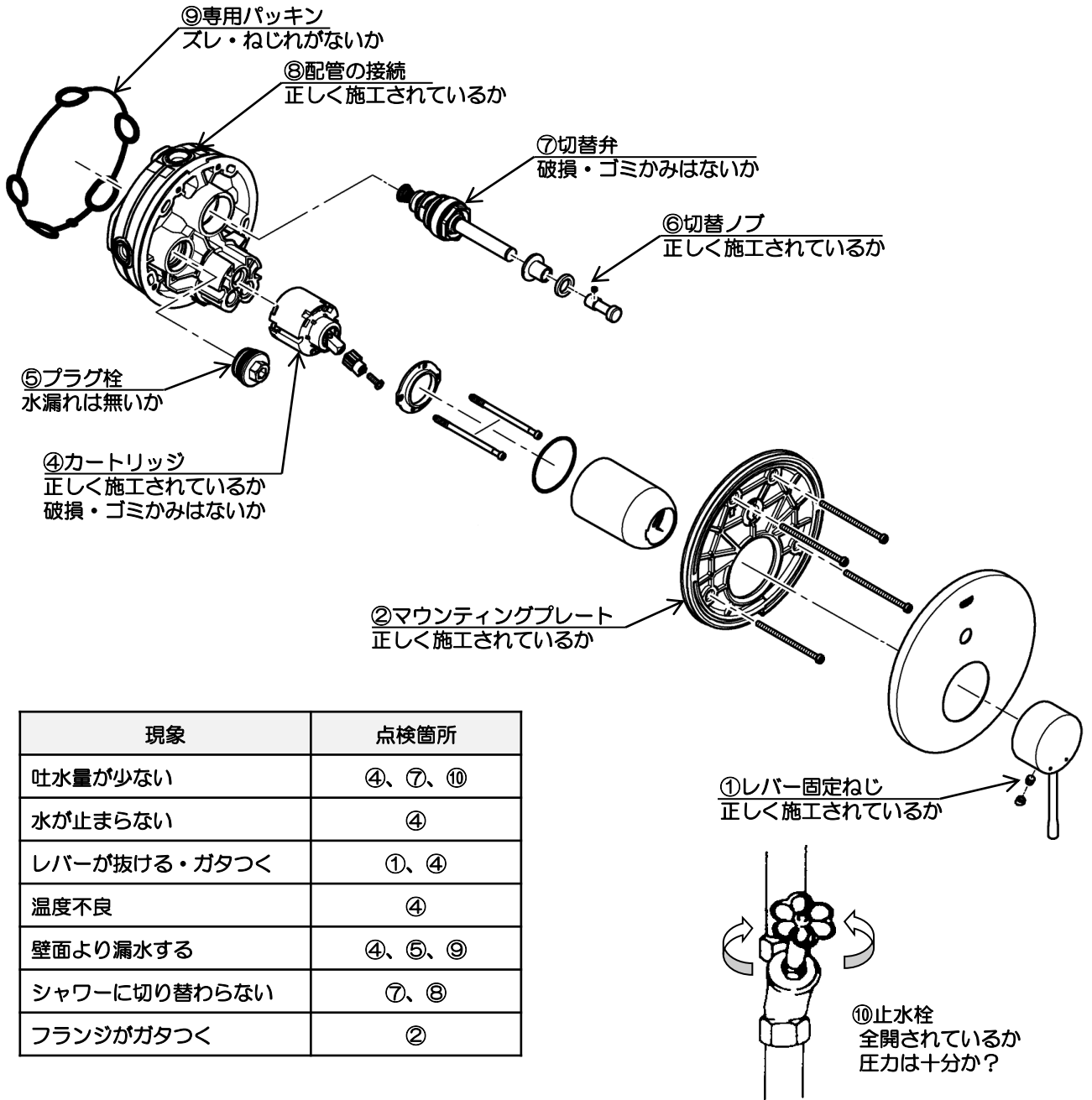
注意

切替ノブの無いタイプを設置の場合この作業は必要ありません。



故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所
吐水量が少ない	④、⑦、⑩
水が止まらない	④
レバーが抜ける・ガタつく	①、④
温度不良	④
壁面より漏水する	④、⑤、⑨
シャワーに切り替わらない	⑦、⑧
フランジがガタつく	②

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>